

2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社碧
コード番号 3039 URL <https://www.heki.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役（氏名）金城 智子
問合せ先責任者（役職名）経営企画部長（氏名）仲村 盛健 TEL 098-863-1533
定時株主総会開催予定日 2024年12月20日 配当支払開始予定日 —
発行者情報提出予定日 2024年12月27日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会の開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期の業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	926	3.7	△29	—	△32	—	△22	—
2023年9月期	893	28.0	△45	—	△43	—	△48	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式 調整後1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△38.16	—	△15.2	△4.9	△3.1
2023年9月期	△82.22	—	△26.5	△6.3	△5.0

（参考）持分法投資損益 2024年9月期 ー百万円 2023年9月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産額	純資産額	自己資本比率	1株当たり純資産額
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	657	136	20.8	231.29
2023年9月期	674	158	23.6	269.45

（参考）自己資本 2024年9月期 136百万円 2023年9月期 158百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	3	△22	9	408
2023年9月期	△120	△61	49	417

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計) 百万円	配当性向 %	純資産 配当率 %
	中間期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭			
2023年9月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	0.00	0.00	0.00		—	

3. 2025年9月期の業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	844	△8.8	△3	—	△6	—	△6	—	△11.3

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式含む)	2024年9月期	590,000株	2023年9月期	590,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期	—株	2023年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	590,000株	2023年9月期	590,000株

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページの「1. 経営成績 (3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 今後の見通し	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 財務諸表及び主な注記	
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	14
(持分法損益等)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する定性的情報

当期の経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化による人流の動きが活発となりインバウンド需要の増加などを受けて景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やガザ紛争など中東情勢の緊迫化など地政学リスクが顕在化した不安定な国際情勢のなかで、原材料価格やエネルギー価格の高騰などの懸念や、人手不足及び人件費上昇などコストを押し上げる要因が重なり、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

外食産業におきましても、人の往来が回復し国内や海外からの観光客などの増加が消費活動を底上げしているものの、円安や物価上昇などによる消費者の節約意識の高まりなどから、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社は「会社の発展と社員1人ひとりの幸福と株主の利益拡大のためにお客様に満足感をご提供する」ことを企業理念として店舗運営に取り組んでまいりました。

営業面においては引き続き、メニューラインアップの増加に注力し、新商品開発表彰制度を社内イベントとして継続的に実施し商品開発に取り組み、一品メニュー、季節に合わせた限定メニューなどの販路拡大に努めたことにより、インバウンドを含む観光客の来店客数は増加傾向となりました。2023年12月にしゃぶしゃぶの専門店紺若狭店がオープンし、他の店舗より小型店舗となっておりますが、しゃぶしゃぶをメインに新たなニーズにお応えすべく洗練された接客を提供しております。

以上の結果、当事業年度の売上高は926,177千円（前年同期比3.7%増）、営業損失は29,128千円（前事業年度は45,062千円の営業損失）、経常損失は32,674千円（前事業年度は43,867千円の経常損失）、当期純損失は22,515千円（前事業年度は48,512千円の当期純損失）となりました。

なお、当社はレストラン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末と比べ36,634千円減少し、479,725千円となりました。これは主に、未収消費税等の減少26,466千円、現金及び預金の減少9,212千円、原材料及び貯蔵品の増加1,102千円によるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末と比べ19,062千円増加し、177,304千円となりました。これは主に、建物の増加20,978千円、建設仮勘定の減少2,600千円によるものであります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末と比べ25,169千円増加し、128,930千円となりました。これは主に、一年内返済予定の長期借入金の増加24,357千円、未払消費税等の増加16,189千円、預り金の減少4,572千円、未払費用の減少3,176千円、買掛金の減少2,472千円によるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末と比べ20,227千円減少し、391,641千円となりました。これは主に、長期借入金の減少14,084千円、資産除去債務の減少8,318千円、退職給付引当金の増加2,291千円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比べ22,515千円減少し、136,458千円となりました。これは、当期純損失22,515千円の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して9,212千円減少し、408,038千円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は3,794千円（前事業年度は120,423千円の使用）となりました。これは主に、税引前当期純損失21,461千円を計上したことのほか、未払消費税等の増加額16,189千円、減価償却費の発生6,079千円、未収消費税等の減少額26,466千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は22,699千円（前事業年度は61,874千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23,716千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は9,692千円（前事業年度は49,222千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入27,000千円、長期借入金の返済による支出16,727千円によるものであります。

(3) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、行動制限の撤廃による経済活動の正常化や、人流が回復したことに伴い、外食の機会が増加し来店客数は順調に回復する見込みであります。物価高が沈静化する兆しが見えないなか人手不足及び、人件費や原材料費の上昇などに対し、付加価値の高い接客を実施しながら店舗運営の実践に取り組んでまいります。尚、2024年10月には不採算店舗であった大阪の「鉄板焼ステーキレストラン 碧 うめきた店」を閉店いたしました。店舗に係る地代家賃、物流費などの販売管理費の削減効果を見込んでおります。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、国内や海外からの観光客などが増加したことから、来店客数・売上高ともに回復したものの採算の確保までは至っておりません。2023年9月期におきましては営業損失45,062千円、2024年9月期におきましては営業損失29,128千円を計上しております。

また、景気は緩やかな回復基調に向かっていますが、円安や物価上昇などによる消費者の節約意識への高まりなどから、営業債務や借入金返済の原資となる更なる売上や客単価の回復は鈍いと予想され、一定の期間を要するものと考えられることから、資金繰りの悪化の懸念が生じます。そのため将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該状況を解消又は改善するために、当社では以下の対応策を講じてまいります。

売上改善策

① 鉄板焼ステーキレストラン「碧」事業部

主力商品の大幅な変更はありませんが、リーズナブルな価格帯のランチメニュー導入やサイドメニューのラインアップ増加を図るとともに、季節に合ったイベントの企画・実施により新規顧客の開拓に繋げております。

② しゃぶしゃぶの専門店「紺」事業部

主力商品の大幅な変更はありませんが、鮮魚メニューやテイクアウトメニューの開発およびしゃぶしゃぶとランチメニューや一品料理を提供することで、幅広い顧客ニーズに対応するとともに、季節に合ったイベントの企画・実施により新規顧客の開拓に繋げており、インバウンドを含む観光客や地元の企業や個人のお客様が増加しております。店舗展開として、2023年12月に「しゃぶしゃぶ紺若狭店」をオープンしております。

「碧」及び「紺」事業部においては、全社的な社内イベントとして新商品開発表彰制度を設け、新商品の開発を促進し、販路拡大を継続しております。本年は「アーサのだし巻き卵」・「あぐー豚月見つくね」・「タコと菜の花のアーリオオーリオ」・「ノンアル・パインソーダ」・「生パインサワー」・「めかじきパテ」等季節限定プラン、一品料理、デザートプレート、ドリンク等を各店舗にてご提供しております。

なお、上記の売上改善策に加え当事業年度の末日現在において現金及び預金を408百万円保有し十分な手元資金を確保していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、財務諸表への注記は行っておりません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性の確保を重視し、当面は、会計基準につきましては日本基準に基づき財務諸表を作成する方針です。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	417,250	408,038
預け金	28,296	26,362
売掛金	16,890	16,831
商品及び製品	2,441	3,177
原材料及び貯蔵品	12,217	13,320
前払費用	9,719	9,554
未収入金	125	68
未収消費税等	26,466	—
その他	2,952	2,373
流動資産合計	516,360	479,725
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	56,159	77,137
車両運搬具(純額)	230	—
工具、器具及び備品(純額)	1,217	1,256
建設仮勘定	2,600	—
有形固定資産合計	60,207	78,394
無形固定資産		
電話加入権	28	28
無形固定資産合計	28	28
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
保険積立金	41,013	42,085
長期前払費用	635	313
敷金・保証金	56,357	56,482
投資その他の資産合計	98,007	98,881
固定資産合計	158,242	177,304
資産合計	674,603	657,030

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,412	15,940
一年内返済予定の長期借入金	14,151	38,508
未払金	15,517	14,214
未払費用	34,312	31,136
未払法人税等	585	585
未払消費税等	—	16,189
預り金	6,342	1,770
賞与引当金	8,871	7,967
資産除去債務	—	400
その他	5,567	2,219
流動負債合計	103,760	128,930
固定負債		
長期借入金	335,507	321,423
リース債務	2,468	1,887
退職給付引当金	26,866	29,157
資産除去債務	46,009	37,691
繰延税金負債	1,018	1,482
固定負債合計	411,868	391,641
負債合計	515,629	520,572

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,000	55,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
資本剰余金合計	25,000	25,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	78,973	56,458
利益剰余金合計	78,973	56,458
株主資本合計	158,973	136,458
純資産合計	158,973	136,458
負債純資産合計	674,603	657,030

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	893,306	926,177
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	2,113	2,441
当期商品仕入高	31,600	31,333
当期製品製造原価	477,065	495,475
合計	510,779	529,250
商品及び製品期末棚卸高	2,441	3,177
商品及び製品売上原価	508,337	526,072
売上総利益	384,968	400,105
販売費及び一般管理費	430,031	429,233
営業損失（△）	△45,062	△29,128
営業外収益		
受取利息	3	25
保険金収入	3,596	114
その他	740	673
営業外収益合計	4,339	813
営業外費用		
支払利息	2,445	3,307
保険解約損	54	798
その他	644	253
営業外費用合計	3,144	4,359
経常損失（△）	△43,867	△32,674
特別利益		
固定資産売却益	—	407
トライアル雇用補助金	120	—
資産除去債務戻入益	—	10,655
補助金収入	492	150
特別利益合計	612	11,212
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	3,653	—
特別損失合計	3,653	—
税引前当期純損失（△）	△46,909	△21,461

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
法人税、住民税及び事業税	585	588
法人税等調整額	1,018	464
法人税等合計	1,603	1,053
当期純損失（△）	△48,512	△22,515

製造原価明細書

区分	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	193,438	40.5	200,111	40.4
II 労務費	258,624	54.2	266,657	53.8
III 経費	25,002	5.2	28,706	5.8
当期総製造費用	477,065	100.0	495,475	100.0
仕掛品期首棚卸高	—		—	
合計	477,065		495,475	
仕掛品期末棚卸高	—		—	
当期製品製造原価	477,065		495,475	

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主 資本 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	55,000	25,000	25,000	127,486	127,486	207,486	207,486
当期変動額							
当期純損失（△）				△48,512	△48,512	△48,512	△48,512
当期変動額合計	—	—	—	△48,512	△48,512	△48,512	△48,512
当期末残高	55,000	25,000	25,000	78,973	78,973	158,973	158,973

当事業年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主 資本 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	55,000	25,000	25,000	78,973	78,973	158,973	158,973
当期変動額							
当期純損失（△）				△22,515	△22,515	△22,515	△22,515
当期変動額合計	—	—	—	△22,515	△22,515	△22,515	△22,515
当期末残高	55,000	25,000	25,000	56,458	56,458	136,458	136,458

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失 (△)	△46,909	△21,461
減価償却費	1,803	6,079
利息費用	—	313
トライアル雇用補助金	△120	—
補助金収入	△492	△150
減損損失	3,653	—
資産除去債務戻入益	—	△10,655
固定資産売却益	—	△407
固定資産除却損	0	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,467	2,291
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,791	△904
受取利息及び受取配当金	△3	△25
支払利息	2,445	3,307
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,692	59
棚卸資産の増減額 (△は増加)	117	△1,839
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,816	△2,472
未払費用の増減額 (△は減少)	4,352	△3,190
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△26,466	26,466
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△60,264	16,189
未払金の増減額 (△は減少)	2,455	△1,303
その他	22	△4,795
小計	△118,022	7,501
利息及び配当金の受取額	3	25
利息の支払額	△2,431	△3,293
補助金収入	612	150
法人税等の支払額	△585	△588
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120,423	3,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,846	△23,716
有形固定資産の売却による収入	—	444
敷金の差入による支出	△2,464	△307
敷金の返還による収入	5,400	880
資産除去債務の履行に伴う支出	△5,963	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,874	△22,699

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	51,500	27,000
長期借入金の返済による支出	△1,842	△16,727
リース債務の返済による支出	△435	△580
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,222	9,692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△133,075	△9,212
現金及び現金同等物の期首残高	550,326	417,250
現金及び現金同等物の期末残高	417,250	408,038

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、レストラン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	269円45銭	231円29銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△82円22銭	△38円16銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純損失金額(△)		
当期純損失金額(△)(千円)	△48,512	△22,515
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失金額(△)(千円)	△48,512	△22,515
期中平均株式数(株)	590,000	590,000

(重要な後発事象)

(店舗の閉鎖)

当社は、2024年8月8日開催の取締役会決議により、営業店舗である「碧」うめきた店を閉店することにいたしました。

1. 店舗閉店の理由

「碧」うめきた店は、2013年4月に開店いたしました。広報活動や新メニューの取り組み等も積極的に行って参りましたが、業績好転の見通しは厳しく、店舗の維持管理コスト等の増加も見込まれることから、当社全体の収益性改善を図るため閉店することといたしました。

2. 店舗概要及び店舗閉店の時期

- ① 店舗名 「碧」うめきた店
- ② 所在地 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪ショップ&レストラン 南館 8F
- ③ 閉店時期 2024年10月10日

3. 店舗閉店に伴う業績への影響

本店舗閉店が当社の業績に与える影響は軽微であると予定しております。

(TOKYO PRO Marketにおける当社株式の上場廃止申請について)

当社は、2024年11月15日開催の取締役会において、2024年12月20日に開催する定時株主総会に「TOKYO PRO Marketにおける当社株式の上場廃止申請の件」を付議することを決議いたしました。

詳細につきましては、同日に公表いたしました「TOKYO PRO Marketにおける当社株式の上場廃止申請に関するお知らせ」をご参照ください。

以上